

Toyoko

いのち響きあう豊岡をめざして

豊岡市生物多様性地域戦略



2013
豊岡市

いのち響きあう 豊岡をめざして

豊岡市生物多様性地域戦略

あいさつ

豊富な雪解け水で小川が潤される春、我が家の周りでも田植えの準備が始まります。やがて田んぼに水が張られると、サギやコウノトリがやって来てはエサを探す姿が見られ、梅雨が明けて暑さが本格的になる夏には、虫を求めて子どもたちが駆け回ります。秋には垂れる稲穂にアカトンボがとまり、米づくりの終わった田んぼはやがて雪原となります。

四季折々に訪れる郷の風景は、私たちの暮らしと密接に関わりながら形づくられてきました。

約700km²にも及ぶ豊岡市を見渡すと、1000m級の山や緩急さまざまな河川、変化に富んだ海岸線など、多様な地形が広がっています。そこでは山・川・海のさまざまな生きものが相互に作用しあって命をつなぎ、豊かな自然を形づくっています。

一方豊岡には、失われてしまった自然もあります。私が子どもの頃には、学校帰りの水路でメダカを見ることもできましたし、田んぼには小魚を狙うタガメの姿がありました。しかし今、メダカはすっかり減ってしまい、タガメはもう何十年も見つかっていません。

今ある豊かな自然を保全し、失われてしまった自然を再生するために、私たちは何をすべきなのでしょうか。

私たちの命が、かけがえのないものであるように、全ての生きものの命も、かけがえのないものです。自然界に大きな影響を及ぼす力を持つ私たちは、多様な生きものと共に暮らしていること、多様な生きものの恩恵を受けて命をつないでいることを深く理解し、その力を自然の保全と再生に注がなければなりません。

ここに私たちは、人と生きものとの共生のあり方を再構築し、命のつながりを広げ未来へ引き継いでいくための羅針盤となる「豊岡市生物多様性地域戦略」を策定しました。

豊岡における生物多様性保全の要とは――。その答えを共に探していきましょう。

この戦略が皆さんの参画により進められ、豊かな地域づくりが活発化するとともに、生きものに注ぐ眼差しがさらに豊かになり、人もコウノトリも、小さな虫までもが生き生きと暮らす豊岡なることを願ってやみません。

平成25年9月

豊岡市長 中貝 宗治



いのち 響きあう 豊岡を めざして



1 豊岡をみつめる 1

1. 豊岡のすがた 2
2. 「生物多様性」を考える 8
3. 数々の「ことば」から 10
4. 私たちの考える「地域」 12
5. 地域の姿を映す「小学校歌」 13



2 戦略を描く 19

1. 位置づけと方向性 20
2. 目標とする姿 22
3. 取り組み方 23
4. 高校生が描く未来像 24
5. 豊岡の基本戦略 26



3 戦略を進める 29

1. 5年ごとの戦略 30
2. 目指すべき5年後の姿 31
3. 短期戦略I(2013~17) 32
4. 具体的な取り組み 34
5. 推進のあり方 53



4 今後に向けて 55